

第18回早稲田大学 数学・応用数理談話会

日時：2018年6月7日(木)

16:30-17:30

16:00-16:30 (tea time)

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス 55号館N棟 1階大会議室B

アクセス：<https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>



講演題目：近似理論から計算機援用証明への道 —偏微分問題の精度保証—

アブストラクト：

偏微分方程式をはじめとする無限次元問題の数学的に厳密な議論は、通常、関数解析的な手法を用いてなされる。一方で、それらの問題への数値的接近、いわゆる数値解析は工学や産業界などにおいても、近似的に答えを得るための道具として定着している。本講演では、数値解析の延長上で数学的な厳密証明が可能となるための条件と原理について考察する。これまでに適用できた、あるいはできつつある偏微分方程式とその関連問題を紹介し、その現状と今後の動向を探る。

講演者

中尾充宏先生

(九州大学名誉教授・早稲田大学招聘研究員)



早稲田大学理工学術院基幹理工学部数学科・応用数理学科
早稲田大学理工学術院総合研究所・重点領域「数理科学研究所」
早稲田大学総合研究機構・流体数学研究所

